

アストラムラインの延伸方面の絞り込みについて

アストラムラインの延伸については、社会経済情勢の変化などを踏まえ、西風新都の全体計画を見直す中で策定の背景が大幅に変わった平成11年の基本計画の内容を再確認する必要があるとの観点に立ち、西広島、新井口、五日市の3方向を改めて比較検討した。

延伸方面については、以下の3つの観点を重視するとともに、都市機能向上対策特別委員会や市民の意見を踏まえ、どの方面が最も優位であるか絞り込みを行った。

■延伸方面の絞り込みにあたって重視した観点

①西風新都を広島広域都市圏や中四国地方の成長・発展を牽引する先導的な「まち」とするため、そのポテンシャルを向上させる点〔西風新都の開発促進の観点〕

⇒ 西風新都と都心や広島陸の玄関口である広島駅を最短で結び、他のルートに比べ、西風新都からの流動が最も大きい西広島ルートが優位である。

【延伸方面別の利用者の流動特性（接続先駅利用者の地区別内訳）】

- ・西広島ルート 西風新都⇄西広島駅 (77%)、己斐地区⇄西広島駅 (13%)、その他⇄西広島駅 (10%)
- ・新井口ルート 西風新都⇄新井口駅 (13%)、美鈴が丘等⇄新井口駅 (53%)、その他⇄新井口駅 (34%)
- ・五日市ルート 西風新都⇄五日市駅 (25%)、八幡東・五日市地区等⇄五日市駅 (58%)、その他⇄五日市駅 (17%)

②地区が抱えている課題をより多く解決するなど、まちづくりへの貢献度〔まちづくりの観点〕

⇒ 西広島駅周辺地区やルート沿線の開発促進に加え、己斐中央線が整備されることにより、己斐地区における歩行者の安全性及び災害時の避難路の確保や、交通の円滑な処理が可能となるなど、まちづくりへの貢献が大きい西広島ルートが優位である。

③国土交通省の特許(事業の許可)取得の可能性〔事業成立性の観点〕

⇒ 事業の許可の可能性があるのは、西広島ルートのみである。

■都市機能向上対策特別委員会や市民の意見

○都市機能向上対策特別委員会での意見

- ・西広島ルートについては、既に己斐中央線の都市計画決定をして、さらに測量も終わっているのに説明資料に何も記載がない。この比較表を見て他所に行くようなことはないと思うが、これまでの経過を比較に書くべき。
- ・延伸事業の基本方針について、できるだけ早い時期の決定を期待している。
- ・将来的に整備するという方針に異議を唱えるものではないが、今の広島市の財政状況を踏まえると、すぐに事業着手するのはどうか。

○延伸に関する市民からの意見（市ホームページで公共交通体系づくりについて寄せられた意見）

- ・アストラムラインの西広島ルートは、西風新都と都心を結ぶことで広域公園等へのアクセスが向上し、己斐地区の道路整備にもつながることから、都市の発展のためには不可欠である。
- ・アストラムラインの莫大な建設費で広島市の財政がとても心配である。
- ・公共交通について、広島駅から紙屋町まで早く到着するようにしてほしい。西風新都より都心が大切である。

以上のとおり、3方向を比較検討した結果、

「西広島ルートが最も優位である」と再確認した。

今後は、西広島ルートに絞り込み、その中で複数ルートの比較検討を進めることとする。